

# 中田かわら版 12月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

## ■この人に会いたい< 54 >

### 医療系専門の若者の育成

つよし

## 内堀 毅さん 富士見丘



富士見丘自治会に越してきたのが昭和 47 年で、今年で 48 年目になります。当時は家の裏は雑木林で、春にはタラの芽が、秋にはアケビや自然薯が、田んぼではドジョウが獲れ、信州の山奥で育った私にとってはとても素晴らしい環境でした。当時、自治会では近くにまむしの養殖場の建設が持ち上がって大反対したことがニュースになっていました。裏山では子どもたちが小さい頃はバーベキューをやったり、山歩きをしたりして楽しみました。

その名残で一部が「ふれあい樹林」として残っています。そして当自治会の年配者が中心となって、ふれあい樹林愛好会として横浜市から補助金を受けて毎日曜日に樹木の手入れやお花を植えたりして活動しています。

私が自治会活動を始めたのは、65 歳からです。私は仕事柄パソコンが使えたので最初、自治会の書記を頼まれ、2 年間務めたら続いていきなり会長を務めることになり、2 期 4 年間やりました。その間「お手伝いクラブ」を立ち上げて今や多くの年配の方に重宝がられています。それはお年寄りの方が、庭の草木の手入れや家具の不具合等で困っているのを、自治会内の器用な人や庭木の手入れが得意な人などがチームを作って手助けしてあげるといふもので、現在も軌道に乗って活発に活動を続けています。

富士見丘自治会は中田連合では 4 番目に大きな自治会で、とても活発でまとまりが良く、楽しい自治会です。就任中には連合の大運動会では 11 年ぶりの優勝を飾ることが出来て良き思い出となっています。

その後、中田連合自治会の監査を 2 年間務めさせて頂き、引き続き副会長を拝命され、今に至っています。

その他に、地区社会福祉協議会の監査、地区経営委員会副会長、泉区地域協議会委員を務めさせて頂いています。特に泉区地域協議会委員は連合の代表として泉区の他の 11 連合の代表（各連合 2 名ずつ）の方との交流もあり、大変勉強になっています。

私は前述のように長野県東部の浅間山の麓に位置する北佐久郡御代田町の出身です。そして関東エリアに在住で、町出身者や町を愛する人で作っている「東京御代田会」の会長も務めています。これまで 50 余年間に渡り、大学、短大、専門学校で若者の教育に携わり、今に至っています。

未だに研究は休業状態ですが教育には生き甲斐を感じています。今は大学勤務時代の仲間が 40 余年前に開設した医療系の専門学校（看護師、臨床検査技師、救急救命士、介護福祉士、動物看護師、バイオ技術者の養成）に臨床検査技術学科長として、生命を尊重する人間性豊かで現代医療を支える医療系専門職業人の育成に努めています。

趣味はスポーツで、住み始めた頃に自治会のソフトボールチームに誘われ、晩年は監督もやりました。若い頃はテニスも指導員の資格を取得するなど夢中になりましたが、今はゴルフがメインで、スキーも年に 1 回北海道で滑る程度です。

75 歳を過ぎた今、田舎の野山で鍛えた体力が続く限り、即戦力となる医療技術者の育成と誰もが安心して住める素晴らしい地域社会構築のために尽力したいと思います。



恩師のノーベル生理学医学賞受賞者 大村 智博士(右)と一緒に

## ■編集委員より

今回は訪問インタビューの形ではなく内堀氏に直接原稿を書いていただきました。

この度ご紹介の内堀氏はノーベル生理学賞受賞者大村智氏とのツーショットでのお写真を撮られる間柄で、富士見丘自治会在住です。現在は中田連合自治会副会長在職で活躍され、自治会だけではなく中田地域にとりましても大変に大きい存在の人です。

編集委員として、ご紹介できることは大変誇りに感じて居ります。

(編集員 佐々木弘美)

～一人ひとりが CO<sub>2</sub> を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

# 1月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 第43回 中田新春健康マラソン大会 募集要項



日時：令和2年1月12日（日）雨天中止

開会式 9:30 スタート 2.5 km 10:00 5 km 10:20

場所：中田小学校校庭（スタート及びゴール）

申し込み方法：往復はがき（本人負担）による事前申込制（当日の申し込み不可）

表彰：種目ごとに表彰します。また参加者全員に参加賞、その他特別賞など多数有ります。

参加費：中田連合地区在住者以外は1,000円（但し中学生以下は無料）

お問い合わせは、各自治会・町内会の体育部長まで。

申し込み方法及びコース図等「中田新春健康マラソン大会 開催要項と申込方法」については、立場地区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスに12月1日から置いてあります。

### ■中田の歴史記念物< 8 >

## 中田村領主 石巻康敬の墓 中村

長後街道から、中田寺、御霊神社に向かって間もなく右の道路を曲がったところに通称「お殿様の墓」がある。周囲は3階建ての集合住宅や民家に囲まれた一角にポツンと取り残されたように建っている。正面2.7m、横3mの石垣に囲まれ中央に墓石が建ち、故従五位下野守石巻君の墓とある。

平成6年11月1日、横浜市地域史跡に指定され、そこに書かれた説明文には「石巻下野守康敬は小田原北条家の重臣で北条氏康、氏政、氏直の三代に仕えた後、徳川家の旗本に入り、中田村を知行。その地に七代の孫、康福が宝暦12年（1762年）、康敬150回忌の法要に当たって撰文を岡井孝先に依頼して墓碑を建立しました。平成7年3月 横浜市教育委員会」。（縦書き、ほぼ原文のまま）

一方、右方に立つ石碑（80×50×9）の墓誌には「江戸時代中田村領主鎮守御霊神社再興、中田寺開基石巻康敬殿 法名 至徳殿信譽歛翁宗喜大居士 慶長十八年十月一日逝去まで20余年当地開発に務む・・・（略）法然上人浄土開宗800年に当り 当山慶讃事業として開基の遺徳を偲び 墓所の大修復を志し完工し報恩謝徳の微意をささげ また永く当地開発の一端を後世に伝えることを謹んで記す 維持 昭和49年浄土開宗800年記念修復 昭和49年10月 吉詳 貯徳山盈満院 中田寺19世住職香川隆堂撰」。（縦書き、ほぼ原文のまま。和数字を洋数字に転換）などと記されている。

石巻が中田村の発展に寄与したことは分かるが、何故ここに蟄居されたのかは書かれていない。石巻康敬家は戦国期に小田原北条氏の評定衆や相模西部の郡代を務めた家筋で北条氏の重臣だった。天正18年（1590年）7月、小田原城落城によって秀吉の小田原攻めは終わるが、この年の春、秀吉は北条氏直に上洛と謁見を促す。これは北条氏の降伏を意味した。期限ぎりぎりのところで使者として石巻を上洛させたが、時遅く上洛緩怠の罪で監禁される。その後、秀吉は小田原攻めのとき石巻を、なぜか同行させている。秀吉に伴われた石巻は箱根三枚橋に来た時に家康に預けられる。敵とはいえ相手は武将。家康は康敬に温情をもって中田村に蟄居させている。二人はともに三河の出身。その当時は石巻家のほうが格上であり家康とも近い関係だった。いずれにしても蟄居は1年5か月で解かれ百十石余の采地を与えられている。中田村に来ておよそ20年、慶長18年（1613年）、波乱に満ちた石巻は80歳の生涯をここ中田で終えたのである。



領主 石巻康敬の墓

（宮田貞夫）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。 [www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp) へアクセス！！